

A. 主な動き

1. 内政

▼選挙結果の不服申立

・14日、中央選挙管理委員会は、法定期限に間に合わなかったとして、パチキフシナ党による一連の投票所での票の数え直し要求を却下。

・14日、地域党議員は中央選挙管理委員会入口を封鎖。

・16日、ティモシェンコ首相は、高等行政裁判所に大統領選挙結果の不服を申立。7日に行われた投票の結果に関する中央選挙管理委員会の決定を不法と認め、再投票(三次投票)を実施するよう要請。

・17日、高等行政裁判所は、ティモシェンコ候補による申立の審議期間中、大統領選挙の結果に関する中央選挙管理委員会決定の効力を停止。

・19日、高等行政裁判所はティモシェンコ首相による選挙結果の不服申立を審議。裁判所の周囲では、約2000名のヤヌコーヴィチ地域党党首支持者が抗議活動を実施。

・20日、ティモシェンコ候補(首相)は、高等行政裁判所から大統領選挙の結果に関する不服申立を撤回。

・20日、高等行政裁判所はティモシェンコ首相の不服申立取り下げを承認。

▼与党連合を巡る動き

・16日、ティモシェンコ首相はNUNS議員と会談、与党連合存続等に関する議論を実施。

・17日、リトヴィン最高会議議長は、エフレーモフ地域党党派第一副代表の要請に基づき、与党連合評議会に対し10日以内に与党連合の存在を示す文書を提出するよう要請。

・17日、マルティネンコNUNS代表は、ティモシェンコ首相が16日、NUNS内政党に対し、BYTに移動する契約を交わすよう提案したと発言。

・18日、マルティネンコNUNS代表は、NUNSは与党連合の存在を確認するための署名集めを行わないと発言。

・18日、エフレーモフ地域党副代表は、リトヴィン最高会議議長は3月2日にも与党連合の活動停止を宣言すると発言。

・18日、リャピナNUNS議員は、議員グループ「ザ・ウクライヌ」がユーシチェンコ大統領の首相就任と引き替えにBYTとの新たな与党連合結成を行う用意があると発言。

▼地方議会選挙

・15日、トメンコ最高会議副議長(地域党)は、2010年5月30日に予定される地方議会選挙を2011年5月に延期するよう提案。また12日には、ピロジールNUNS議員が地方議会選挙を2010年9月に延期する法案を最高会議に提出していた。

・16日、最高会議は、5月30日の地方選挙を中止。

▼その他

・16日、ユーシチェンコ大統領は最高会議規則法に署名。同法は19日に最高会議で採択されていた。

・19日、最高会議は(大統領就任に伴い)ヤヌコーヴィチ地域党党首の議員全権を停止。

・20日、ユーシチェンコ大統領はヤヌコーヴィチ地域党党首の大統領選出に祝意を表明、25日の大統領就任式に関する大統領令に署名。

2. 経済

▼マクロ経済

・13日、シモンenko会計検査院長は2009年のGDPが13.9%のマイナス成長との見積もりを発表。

・国家統計委員会発表指数

- 2009年の貿易赤字額は13億8070万ドルで前年比119億2690万ドルの改善。

- 第4四半期のGDPは前年同期比7%減。

- 1月の失業率は前月と同じ1.9%。

- 2009年における対内直接投資累積額は前年比2.3%増の1億4360万ドル。累積額は63億4670万ドル。うち大部分がドネツク地域(53億9580万ドル)、キエフ(1億7560万ドル)による投資。

- 2009年の対外直接投資累積額は12.4%増加、400億2680万ドル。

・17日、1月の工業生産高は前年同月比11.8%上昇、前月比12.5%減と経済省が発表。輸出産業(鉱工(26.6%)、化学(29.5%)、機械(23.3%))における伸びが大。

・19日、中央銀行は2009年のGDPが前年比15%減との見込みを提示。

▼ガス問題

・15日、国家統計局は2009年のウクライナの天然ガス輸入が2008年比で15.5%減少、79億7936万ドル分、輸出は同12.3%の減少、182万3100ドル分と発表。

・16日、キエフ地区行政裁判所は、国家電力管理委員会による一般向けガス料金の20%値上げ決定を無効と判断。

・18日、メドヴェージェフ露ガスプロム副社長は、「サウス・ストリーム」のルーマニアにおける区画に関する技術見積もりデータをルーマニアより受け取ったと発表。

・19日、ブリューデル独経済技術相は、対EUガス供給の安定に資するあらゆる提案を歓迎しており、国際コンソーシアム設立案は適したオプションの一つになり得ると発言。

▼その他

・13日、閣僚会議は、7月1日までに炭坑でのメタンガス有効利用に関する計画を提出するよう省エネルギー庁に要請

したと発表。同プログラムの目的はメタンガスの代替エネルギーとしての有効利用及び、炭坑の安全性上昇。

・17日、チギプコ「強いウクライナ」党党首は、首相に任命された場合はガス料金値上げ、社会保障水準の引き下げなど不人気な経済改革の実施を決心している、と発言。

・17日、国際貿易省庁間委員会は、合金鉄に対する反ダンピング調査を開始と発表。

・17日、運輸通信省はウクライナ国鉄(ウクルザリズニスチア)の鉄道貨物運賃を4月1日より2.91-3.2%、7月1日より6.51-6.8%、10月1日より11.86-12%値上げする予定と発表。これにより、12億1600万グリブナの収益増となる予定。

・17日、閣僚会議は2010年度に安定化基金から2億6100万グリブナをキエフ及びドニプロペトロフスクの地下鉄建設・開発に計上。

・19日、EBRD はウクライナ農業基金有限会社に対して7000万ドルを計上する予定と発表。

・19日、スースロフ金融サービス市場規制国家委員会委員長は、今年300億ドルを海外に返済する必要がある、この額が中央銀行の支払い準備高を上回っているとしてウクライナのデフォルトの可能性に言及。

3. 外政

▼15日、査証免除に関するポロシェンコ外相発言

・2010年上半期にはイスラエルとの査証免除が導入されることを期待。2月22日にはホルン外務次官を代表とするミッションがエルサレムを訪問予定。

・EUとの査証免除に向けたロードマップは2010年上半期、ウクライナ新大統領のブリュッセル訪問時に署名されることを期待。

▼17日、ヤヌコーヴィチ候補当選に関するベレゾフスキー発言

・奴隷根性にまみれたウクライナの有権者は、ヤヌコーヴィチという札付きの犯罪者を大統領に選ぶことにより、独立国

であるよりはロシアの辺境地であることを選択した。

・オバマ米大統領は早い段階からヤヌコーヴィチの勝利を祝し、札付きの犯罪者を一国の大統領として認定した。米国にとってはウクライナよりもイラクやアフガニスタンの民主化のほうが重要のようである。(注:ボリス・ベレゾフスキー:英国亡命中のロシア政商。エリツィン政権の黒幕とも言われた。)

▼19日、リトヴィン最高会議議長のクロアチア訪問

・ヨシボヴィチ新大統領の就任式に出席。

・ソル・クロアチア首相、マケドニア大統領、チェコ大統領、ブルガリア大統領らと会談。

▼関税同盟

・18日、グルィズロフ露国家院議長は、統一ロシアと地域党は協力関係にあり、ヤヌコーヴィチ地域党党首の大統領当選はウクライナの関税同盟加入に追い風となるだろうと発言。

・19日、ベリヤニノフ露連邦関税庁長官は、ロシア、ベラルーシ及びカザフスタンの関税同盟にウクライナが加盟するようウクライナ側と集中的に作業を行う準備があると発言。

▼その他

・15日、ユーシチェンコ大統領はルカシェンコ・ベラルーシ大統領と電話で会談し、二国間関係及びアクチュアルな国際問題を協議。

・20日、メドヴェージェフ露大統領は電話でヤヌコーヴィチ新大統領の当選を再度祝福、3月上旬モスクワへ招請。

4. 防衛

▼黒海艦隊駐留問題

・16日、ユーシチェンコ大統領は、ウクライナにおける露黒海艦隊駐留期間延長に関するヤヌコーヴィチ地域党党首の発言は国の不安定化をもたらすであろうと発言。

・18日、バガブシュ・アブハジア「大統領」は、ウクライナに駐留している露黒海艦隊が2017年以降アブハジアに移転されるとのグルジアの報道を根拠がないと否定。

B. その他の動き

2/14 (日)

・ヤヌコーヴィチ地域党党首は、ステパン・バンデラへの英雄の称号授与に関する大統領令を見直すと言。

2/15 (月)

・ユーシチェンコ大統領は、スヴィダ参謀総長兼軍司令官を「Colonel-General」から「General」に昇任させる命令に署名。

2/17 (水)

・ティモシェンコ首相はジムチェンコ元大統領執務室長を外務次官に任命。

・英インターコンチネンタルホテル・グループはホリデイ・インとクラウンプラザホテルを2012年までにキエフに開業する予

定と発表。

2/18 (木)

・スヴィダ参謀総長兼軍司令官は、ウクライナ軍は2010年において21回の国際軍事演習に参加する予定であると発言。9回はウクライナ国内で、12回は国外で実施される予定。

・ユーシチェンコ大統領は自らが主催する「文化芸術博物館」を設立。

・国家統計委員会はデンマークの国家統計局と共同で公的統計の欧州基準導入を目指したトゥイニング・プロジェクトを開始。同プロジェクトは6ヶ月間、15万ドル。

(了)